

RICOH

RICOH AUTO HALF EF2

使用説明書

はじめに

このたびは、リコーオートハーフEF2をお買い上げいただきありがとうございます。

リコーオートハーフEF2はシャッター押すだけの軽くて、小さなやさしいカメラです。

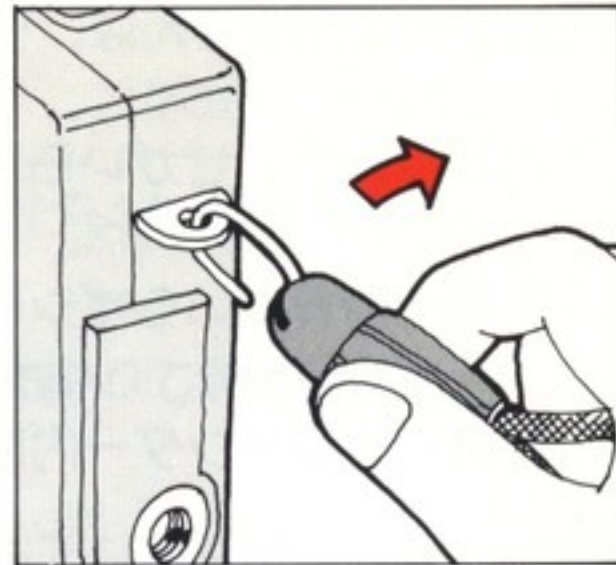
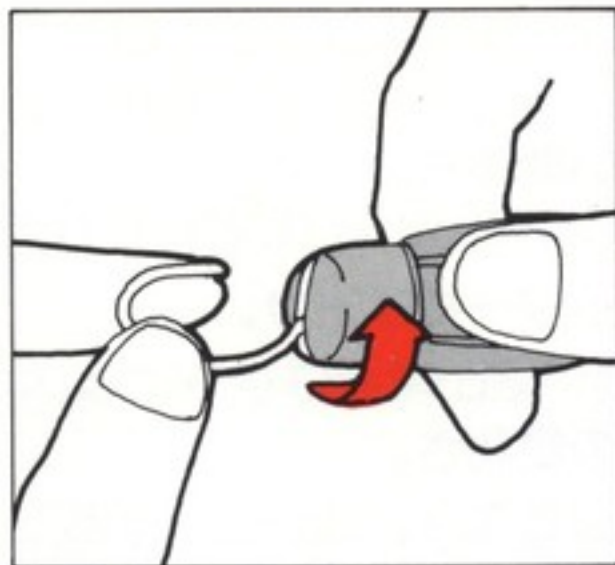
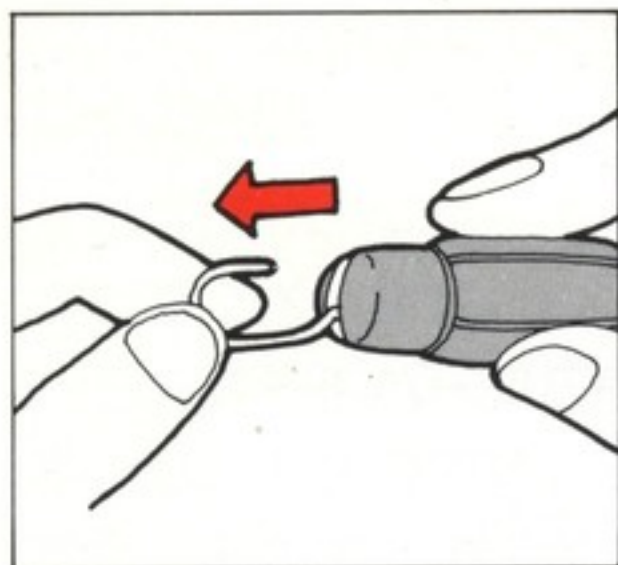
旅行・結婚式・お子さまの成長記録等、いつまでもあなたのカメラとしてご愛用いただくために、この使用説明書をお読みいただき「心に残る写真」を数多くお残してください。



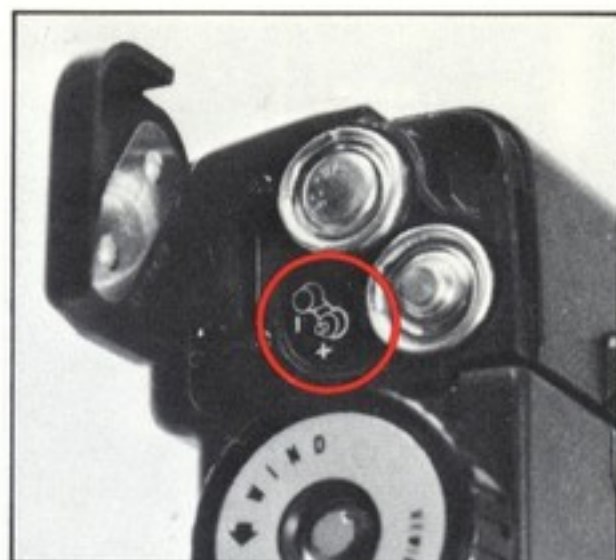
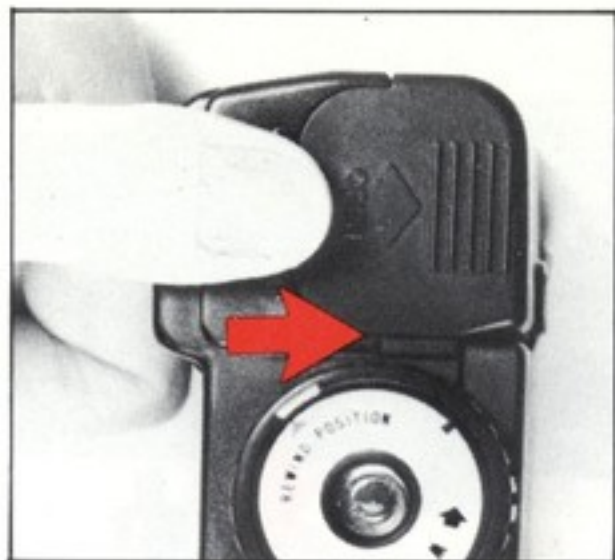
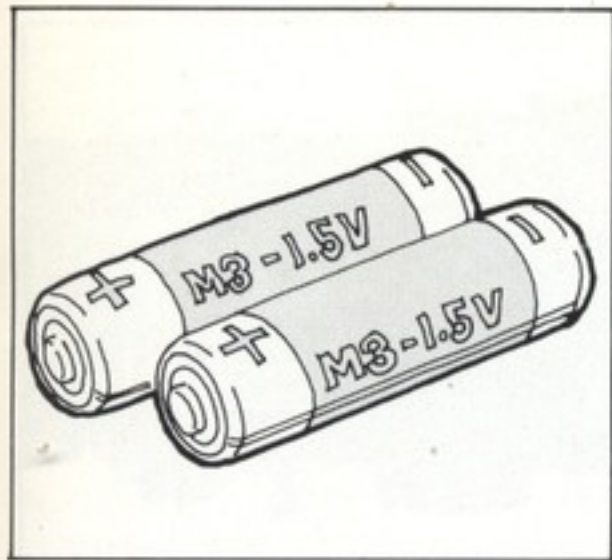
各部の名称(2)は24ページにあります。

各部の名称(1).....	1	連続撮影の仕方.....	13
目次.....	2	フィルムの巻戻し方(1).....	14
おもな特長.....	3	フィルムの巻戻し方(2).....	15
ストラップの取り付け方.....	4	フラッシュ撮影の仕方(1).....	16
フラッシュ用電池の入れ方.....	5	フラッシュ撮影の仕方(2).....	17
フィルムの入れ方(1).....	6	フラッシュ撮影の仕方(3).....	18
フィルムの入れ方(2).....	7	セルフタイマー撮影.....	19
フィルムの入れ方(3).....	8	カメラを修理に出す前に(1).....	20
フィルムの感度セット.....	9	カメラを修理に出す前に(2).....	21
ASA感度ダイヤル.....	9	カメラの手入れと保存.....	22
カメラの持ち方.....	10	アフターサービスについて.....	22
ファインダー内の表示.....	11	仕様.....	23
構図の決め方.....	12	各部の名称(2).....	24

- 1.フィルム装てんは、リコー独自のシンプルローディングシステム。
どなたにも簡単に、フィルム装てんができます。
- 2.ピント合わせがいらぬ簡単さ。
新設計、固定焦点レンズ1.2mから無限遠まではつきり写せます。(オート撮影)
- 3.露出計算がいらぬシャッター押すだけ。
完全EE機構。むずかしい露出計算はすべてカメラが決めてくれます。
- 4.オートワインダー内蔵の便利さ。
リコー独自のフィルム自動巻き。連続25~30枚写せます。
- 5.急速充電式フラッシュ内蔵で暗い所でも平気。
フラッシュ充電完了まで、わずか3~5秒。夜間や暗い室内での撮影も手軽になりました。
- 6.構えやすいグリップタイプ
持ちやすい小型サイズで、手の中にしつかりおさまります。



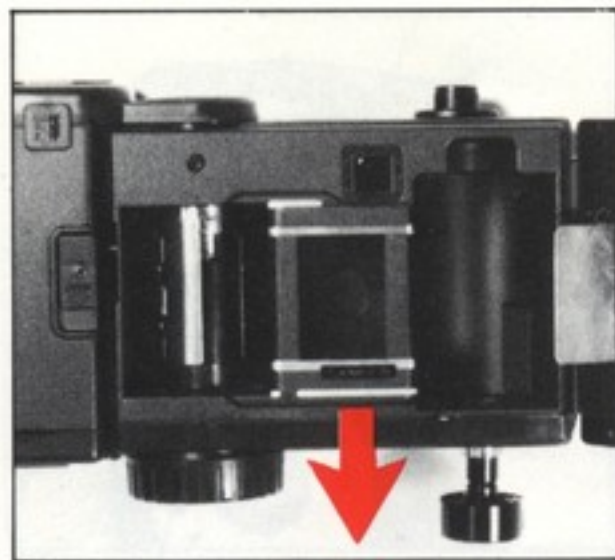
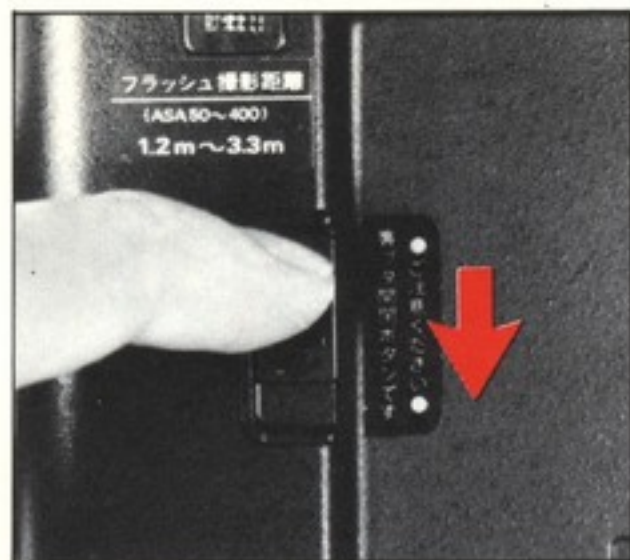
1. ストラップの金具とプラスチックの部分をしっかり持って金具を引き出します。
2. プラスチックの部分を持ち、90°回わすと金具の口が開いたままになります。
3. カメラのストラップ取り付け金具にストラップの金具をひっかけ、プラスチックの部分を左右どちらかに90°回わすと、金具の口が閉じて取り付けられます。



1. カメラの底部に電池室のフタがあります。電池室のフタを親指のハラで押し、➡印の方向に押すとフタが開きます。
2. 電池室に図示した通りに電池の⊕⊖をまちがえないように入れます。
3. 電池を入れたら、フタをしっかり押さえながら、押し込んでフタを閉じます。

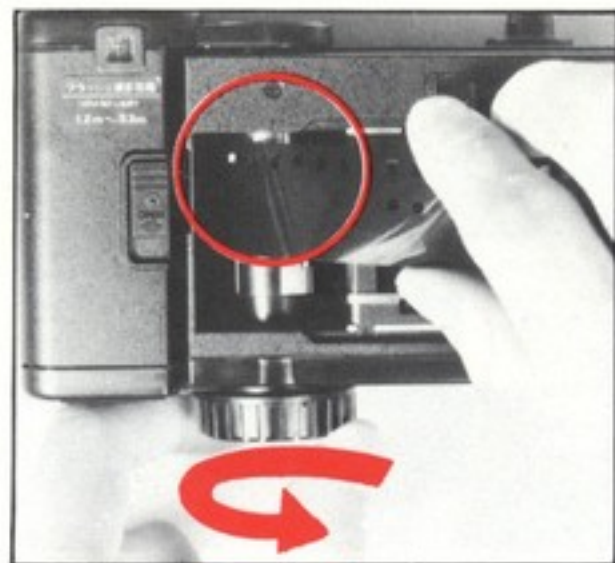
※ 電池は一般に低温になると容量が低下します。0℃以下での撮影では電池部の保温に気を付けてください。0℃以下の寒いところでご使用になるときは、予備の電池をポケットに入れて温めておき、使用する直前に電池を入れかえてください。

フィルムの入れ方(1)



正しい状態にフィルムを入れることが撮影の第一歩です。このカメラはフィルム自動巻上げのカメラですので、フィルムを入れる前にかならずシャッターボタンを押してください。シャッターボタンが押せないときは、巻上げスプリングが完全に解除された状態で、フィルムを入れることが可能です。

1. 裏ボタン開閉ボタンを↓印(OPEN)の方向に押し下げるとフタが少し開きますので、手で開いてください。
2. フィルム巻戻しノブをいっぱい引き出します。
3. パトローネ室に、フィルムを入れて、フィルム巻戻しノブを回しながら巻戻し軸をもとの位置まで押し込みます。
4. フィルム先端を写真のようにスプールの上にのせ、裏ボタンを閉じ裏ボタンがパチンと音がするまで押してください。(P8フィルムの入れ方(3)に続きます。)



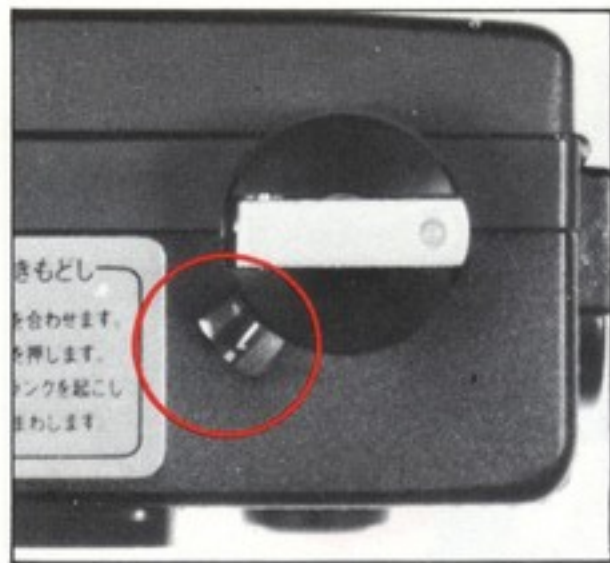
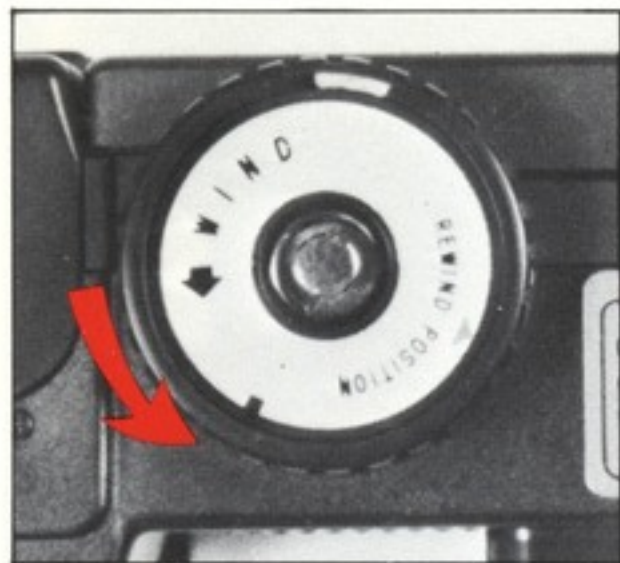
〈フィルム先端部の長いフィルムを使用するとき〉

- ①スプールにフィルムの先端部をのせ、フィルムくわえつめにフィルムパーフォレーション(穴)をひっかけ、フィルム巻上げノブを←方向にまわしてください。
- ②フィルム巻上げノブをまわしながら、スプロケットにフィルムパーフォレーション(穴)を合わせ、裏ブタを閉じます。(P8フィルムの入れ方(3)に続きます。)

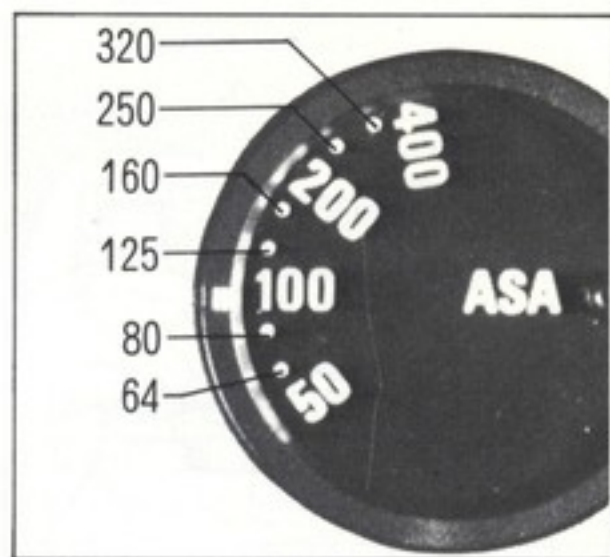
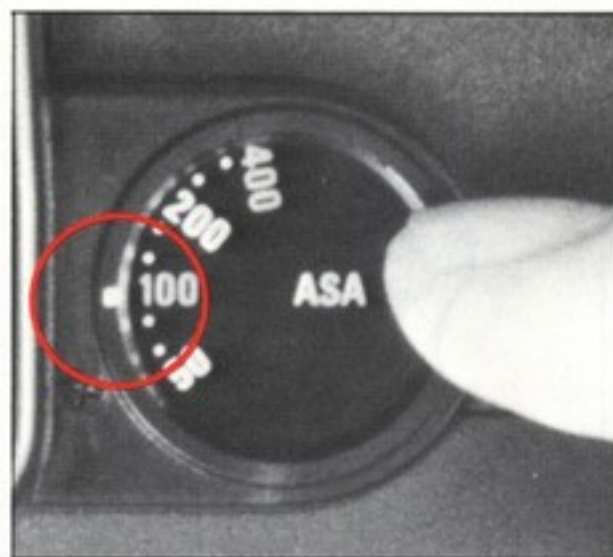
〈こんなとき〉

- シャッターボタンを押したとき、ジャーツと音がした。
- ①巻上げスプリングの余力を解除している音で別に故障ではありません。
- シャッターボタンが途中でとまったとき。(二重露出防止装置)
- ①シャッターボタンを十分に押し込んでください。

シャッターボタンを押したとき、シャッターが切れ、指をはなしたときフィルムが自動的に巻き上げられます。(ジーツという音はフィルムを巻上げている音です。)



5. 裏ブタを閉じてからフィルム巻上げノブを←印の方向に回わすことによってカチッと音がしてフィルムは自動的にセットされます。
 ※フィルム巻上げノブを←印の方向に何回回わしてもジャーツ、ジャーツと音がしているときはフィルムが完全にセットされていませんので、裏ブタを開けフィルムを再度セットしなおしてください。フィルム巻戻しボタンが押し込まれていまいすと、同じ状態になります。(フィルム巻戻しボタンの解除はP14参照)
6. フィルムがセットされた後、さらにフィルム巻上げノブを←方向に回わして、フィルム巻上げノブが止まるまでスプリングをいっぱい巻上げてください。これで25枚～30枚の連続撮影が出来ます。
 撮影途中でスプリングの余力がなくなり、シャッターボタンが押せなくなったら、再度スプリングを巻上げ、撮影を続けてください。
7. フィルムカウンターに“1”が出るまで、くり返しシャッターボタンを押します。

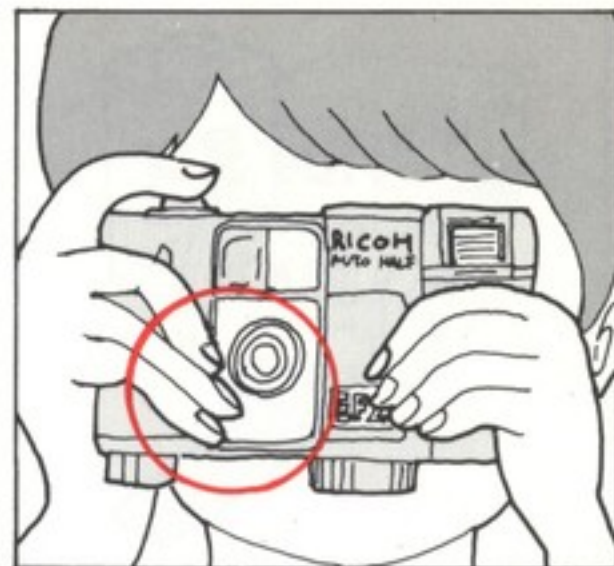


フィルム感度のセットは、美しい写真を撮るための基本です。まちがいのないようにセットしてください。

1. ASA感度ダイヤルのポッチをツメなどで回わして使用するフィルム感度数字(ASA)を感度指標に合わせてください。

〈ASA感度ダイヤル〉

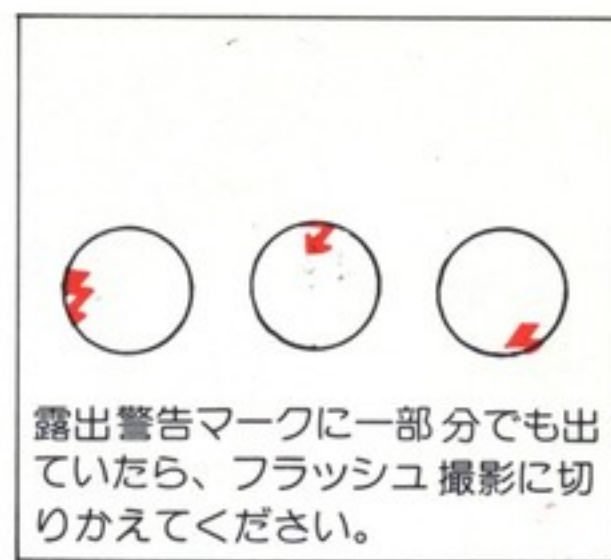
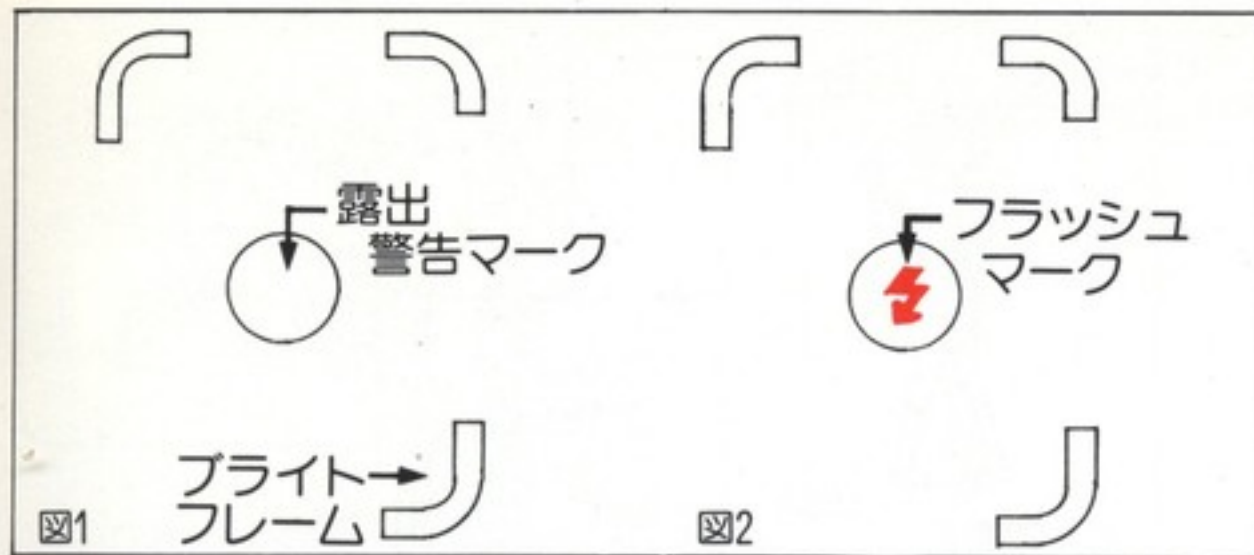
このカメラは表示されている数値以外の感度のフィルムも使えます。フィルムの種類に合わせ図示のような中間のフリックストップの位置でお使いください。



1. 左手でハンドグリップ部を軽くにぎります。
2. 右手の人差し指をシャッターボタンに軽くのせ、ボディを軽くささえます。
3. 左腕のひじを軽く体につけ、カメラを顔に付けてファインダーをのぞきます。右腕は楽にして構えます。

〈こんなとき〉

- カメラを構えるとき露出計受光部に指がかかっていると適正露出がえられないので注意してください。



レンズキャップをはずし、ファインダーをのぞくと明るい光の枠が見えます。これをブライツフレームといいます。また図1の中央の○マークは露出警告マークです。図2の中央の○マークに入っている⚡マークはフラッシュマークです。

- ブライツフレーム

この枠の内側に見える被写体が実際に写ります。

- 露出警告マーク

露出警告マークが黄色なら、適正露出ですから撮影OKです。

- ⚡マーク (フラッシュマーク)

露出警告マークに、⚡マークが一部分でも出ていたら不適正露出ですから、フラッシュ撮影に切りかえてください。(P16参照)



ファインダー内のブライトフレームの枠内に、写したい被写体を入れます。被写体が枠内に入っていれば、頭が切れたり、足が切れたりするような失敗はありません。

※リコーオートハーフEF2は、ハーフサイズです。普通に構えるとフィルムは、ファインダーから見えるようにたて位置に写ります。

〈こんなとき〉

●シャッターボタンが押せないとき。

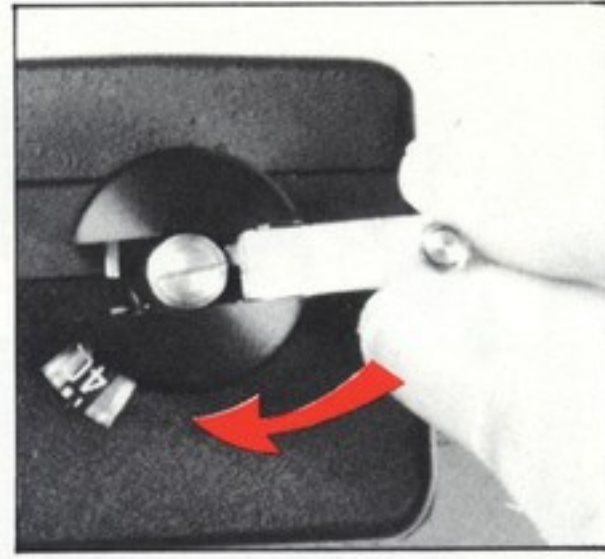
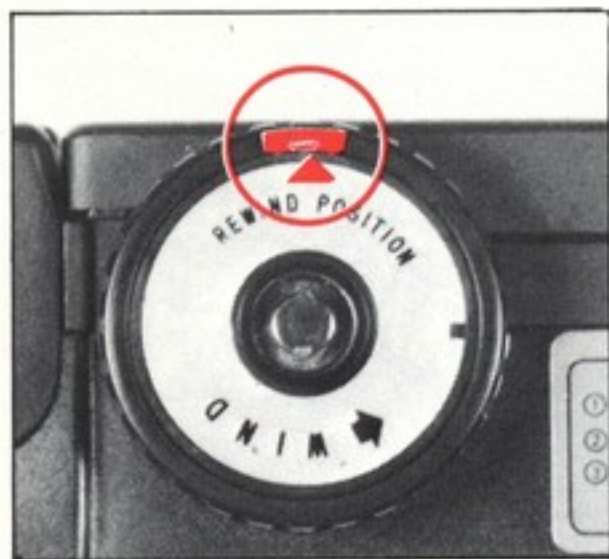
- ①フィルムが入っていない。……………新しいフィルムを入れてください。
- ②スプリングの余力がない。……………再度フィルム巻上げノブをまわしてください。
- ③フィルム全部を撮り終った。……………フィルム巻戻し操作をしてください。



リコーオートハーフEF2は、ピントも露出もノータッチ。しかもフィルムの巻上げまで自動的に行うカメラです。子供の動作やスポーツなどの連続撮影が簡単に楽しめます。

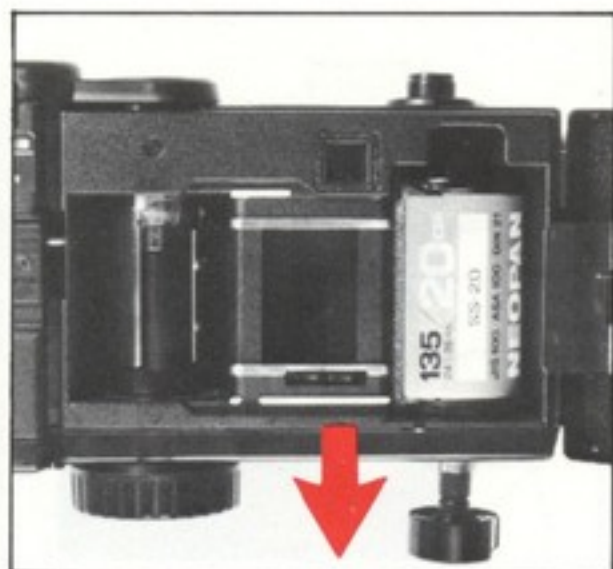
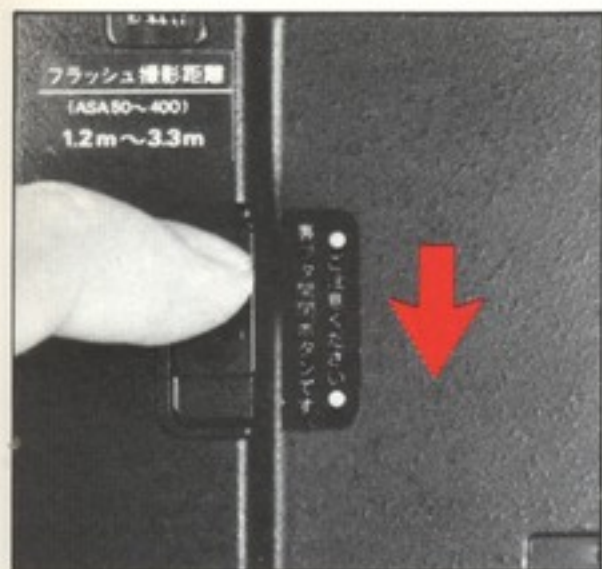
1. 連続撮影を行うときは、構図を決めてから、カメラを顔につけ一コマごとにシャッターボタンを押してください。
- シャッターボタンが元の位置まで戻らない状態で、くりかえし撮影すると連続撮影はできません。
- シャッターボタンが途中で止まったときは、シャッターボタンを更に下まで押しこんでください。指を離すと元に戻ります。

フィルムの巻戻し方 (1)



フィルム全部の撮影が終わったら、フィルムを巻戻します。

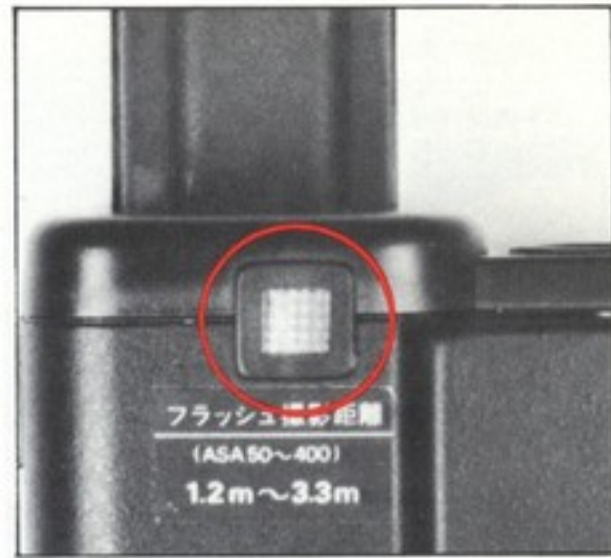
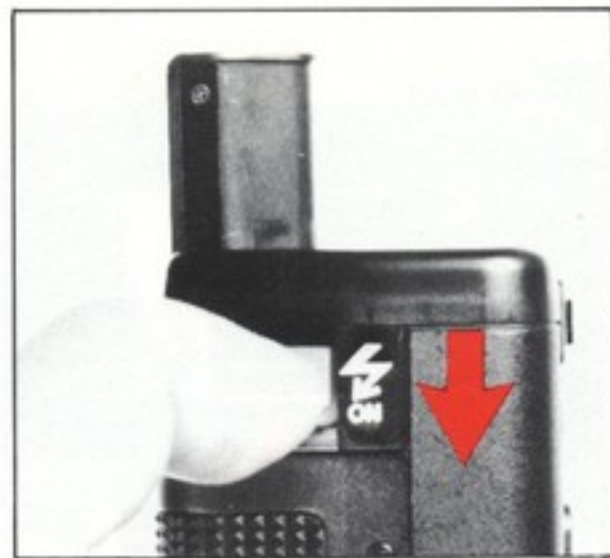
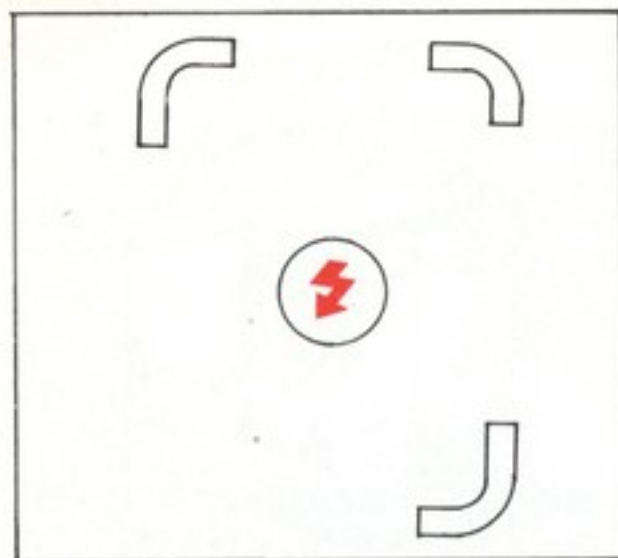
1. スプリング巻上げノブを時計方向に回わし、指標■を内側の▼に合わせます。
2. フィルム巻戻しボタンを押し込みます。
3. フィルム巻戻しクランクを起し、矢印の方向にまわしフィルムを巻戻します。



4. フィルムの巻戻しが終わりますと、フィルム巻戻しクランクが急に軽くなります。
 5. 裏ボタン開閉ボタンを押し下げて、裏ボタンを開けます。
 6. フィルム巻戻しクランクをいっぱいに引いてパトローネを取り出し、裏ボタンを閉じます。
- ※ 次のフィルムを入れる準備の為に、フィルム巻上げノブを時計方向に回わし、フィルム巻戻しボタンがもとの位置に戻ることを確認してください。

〈こんなとき〉

- 巻戻しの途中で裏ボタンを絶対に開けないでください。フィルムに光が入りせっかくの写真がダメになります。
- 巻戻しボタンを押したとき、ジーッと音がすることがあります。巻上げスプリングを解除している音で、フィルムを巻戻している音ではありません。



ファインダー内に⚡マークが出ていたら、フラッシュ撮影に切りかえてください。
夜や室内でも鮮やかな写真が手軽に写せます。

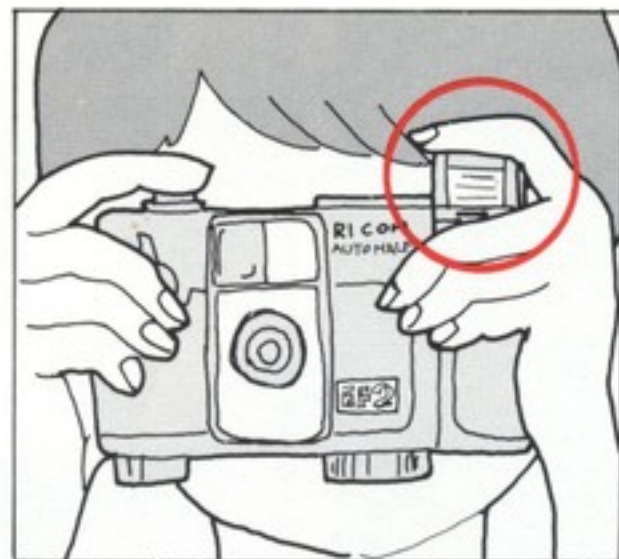
1. フラッシュスイッチを▼印の方向に押し下げるとスイッチがONになります。
2. スイッチONと同時にフラッシュ発光部分が上がります。

フラッシュ撮影のときシャッタースピードは昼間の撮影と同じ1/125秒です。

3. フラッシュパイロットランプが点灯すれば、ストロボ撮影準備完了です。

〈フラッシュ撮影距離〉

使用するフィルム感度	フラッシュ撮影可能範囲	絞り
ASA 50	} 1.2m~3.3m	F2.8
ASA100		F 4
ASA200		F5.6
ASA400		F 8



〈こんなとき〉

- フラッシュ発光部を指などでふさぐと、フラッシュの光をさえぎり、良い写真が撮れません。
- フラッシュ発光部が完全に飛び上っていない状態(指で押し下げた状態等)で撮影しないでください。正しい露出が得られません。
- フラッシュが発光しないとき。
 - ①電池の入れ方をまちがっていませんか。(⊕⊖の方向)
 - ②フラッシュスイッチがONになっていませんか。
 - ③パイロットランプが点灯していますか。

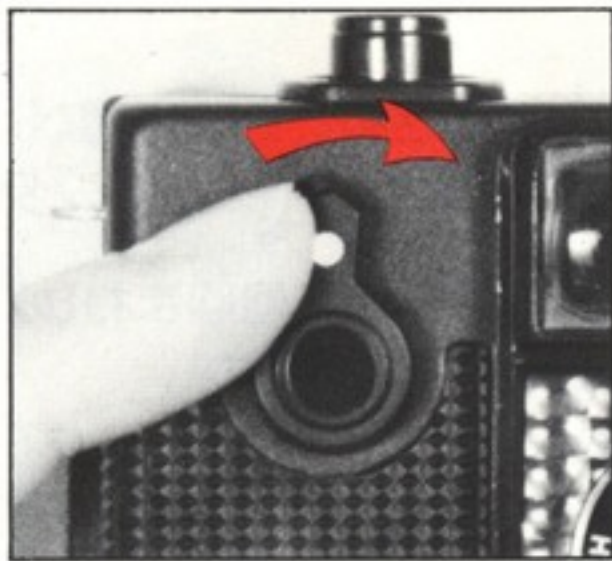
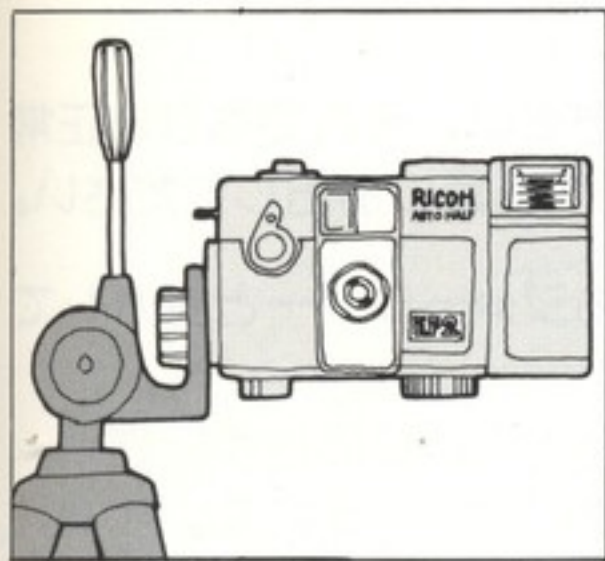


● 充電時間が長いとき。

充電時間が、30秒以上たってもパイロットランプが点灯しないときは、電池が消耗していますので、新しい電池を2本同時に交換してください。

使用電池

使 用 電 池	使用本数	発光回数(新品使用時)	充電時間
単3型アルカリマンガン乾電池(AM-3)	2本	約550回	約5秒
単3型ニッケルカドミウム蓄電池(Ni-Cd)	2本	約250回(充電式)	約3秒
単3型マンガン電池(UM-3)	2本	約200回	約5秒



セルフタイマーはセルフポートレート撮影やグループ記念などで自分も一緒に写したいときに使います。

1. カメラを三脚に固定してからセルフタイマーを矢印方向にセットします。
2. シャッターボタンを押してから約7秒でシャッターが切れます。
3. 三脚をご使用されるときは、ネジ部分の長い三脚を \perp にネジ込まないでください。故障の原因になります。(ネジの長さ5.7mmまでのもの——JIS規格は5.5mmをお使いください。)

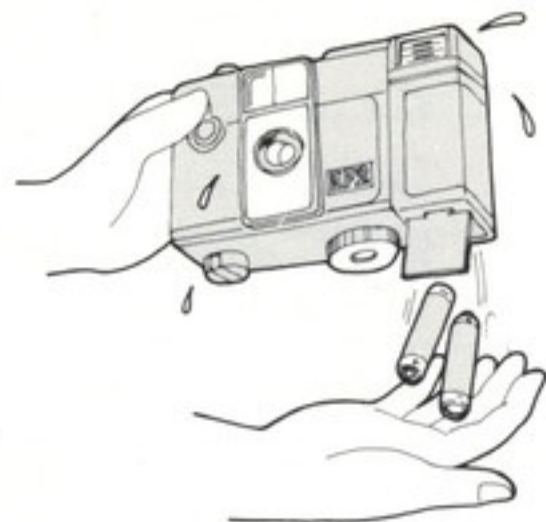
〈こんなとき〉

●セルフタイマーを間違ってセットしたとき。

①セルフタイマーは解除はできませんのでそのまま撮影してください。

カメラを修理に出すまえに、まずつぎのことをお調べください。それでもなお正常に作動しないときは、販売店または弊社サービスセンターへ修理にお出してください。

- フィルム巻上げノブを何回まわしてもジャージャーと音がしてフィルムがセットできない。
 - ① フィルムの先端がスプールの上に正しくのせましたか。
 - ② フィルム巻戻しノブが元の位置に押し込まれていますか。
 - ③ フィルム巻戻しボタンが押し込んだままになっていませんか。
- シャッターボタンが押せない。
 - ① フィルムが入っていますか。
 - ② フィルム巻上げスプリングの余力がありますか。
 - ③ フィルム全部を撮り終っていませんか。
- シャッターボタンが途中でとまって、もとに戻ってこない。
 - ① シャッターボタンを十分に押ししましたか。
- フィルムの巻戻しができない。
 - ① 巻戻しボタンを押し込みましたか。
- 露出警告マークに少し~~レ~~マークが出ているとき。
 - ① 被写体の明るさが不足しているのでフラッシュ撮影をしてください。



●フラッシュが発光しない。

- ①電池は入っていますか、電池の⊕⊖はまちがえていませんか。
- ②フラッシュのチャージランプは点灯していますか。
- ③テスト発光をさせてみましたか。


●カメラを水にぬらしたとき。

- ①フラッシュ電源を切ります。
- ②電池を抜き取ります。
- ③乾いた布でカメラをよくふいてから、お近くのカメラ店または当社サービスセンターにお持ちください。

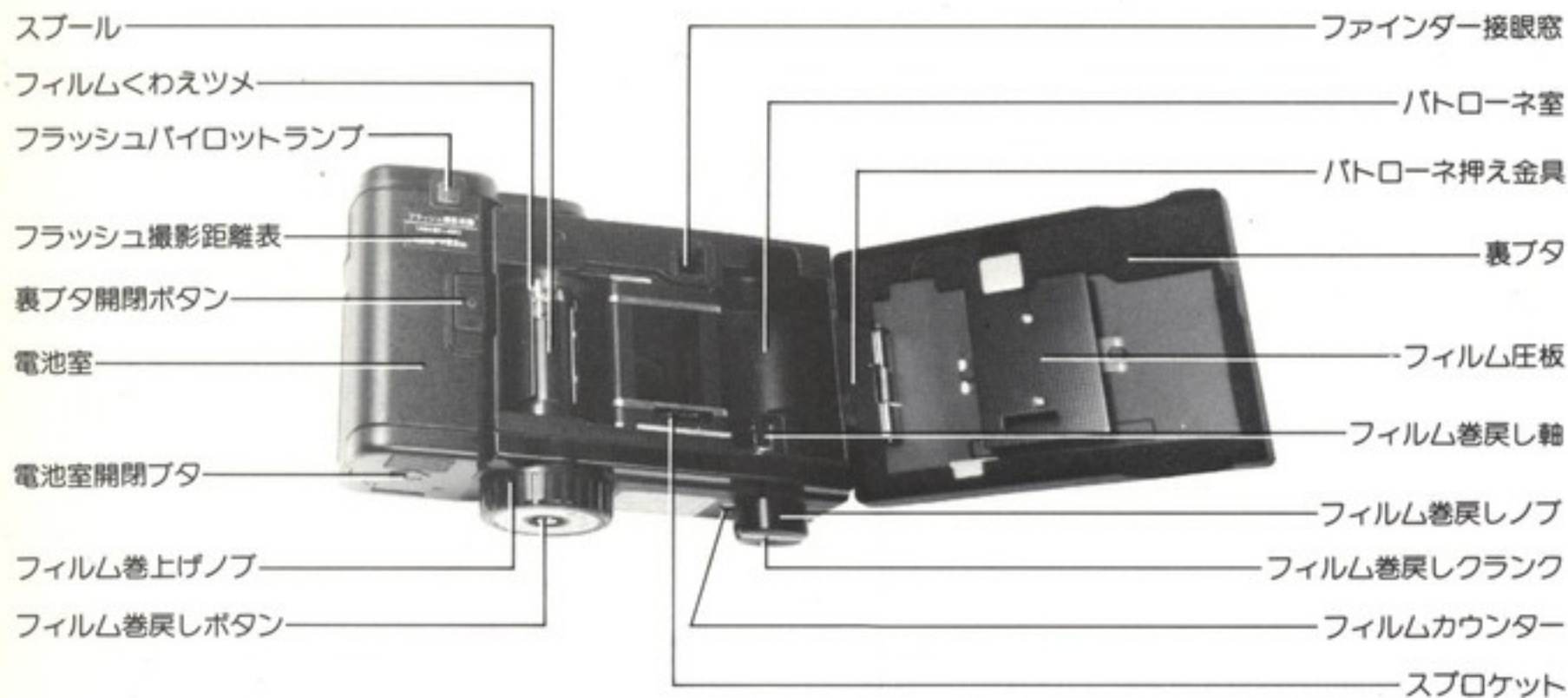
※フラッシュ部分は高電圧回路がありますので絶対に自分で分解などしないようにしてください。

- レンズなどにゴミがついたときは、直接手をふれず、ブローで吹きとばすか、やわらかい布で軽くふきとってください。
- 車の中や海辺など、異常に温度のあがる所に、カメラを長く放置すると故障の原因になりますのでご注意ください。
- 保管するときは、湿気やホコリのない所に保管してください。
タンスの中は防虫剤やホルマリンの影響を受けやすいので、さけてください。
- カメラに急激な温度変化を与えると、故障の原因になります。ご注意ください。
- 長期間使用しないときは、フラッシュ用電池を取り出しておいてください。電池の漏液によるフラッシュの故障を防ぎます。
- カメラを水にぬらしたときは、フラッシュ電源を切り電池を抜き、乾いた布でカメラをよくふいてください。

1. 保証期間経過後の修理は有料となります。また運送料金もお客様のご負担になります。
2. 修理にお出しになる際は内容と個所をできるだけ詳しくお申し出ください。なお故障の状態によっては、そのときのフィルムなどを添付されますと修理作業の参考になります。
3. 修理の直接関係のない付属品類は添付しないでください。
4. 本製品の補修用部品は、5年を目安に保有しております。本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買上げの販売店か、お近くの当社サービスセンターにお問い合わせください。

レンズ	リコーF2.8 25ミリ 3群4枚構成固定焦点式
シャッター	セイコーシャッターBS-11型 1/125秒
ファインダー	採光式ブライトフレームファインダー、露出警告マーク（黄色→適正、  不適正・フラッシュ撮影）
露出計	セレン光電池完全連動EE、連動範囲EV10~16(ASA100)
感度系列	ASA50・(64)・(80)・100・(125)・(160)・200・(250)・(320)・400
フィルム巻上げ	スプリングモーターによる自動巻き上げ、二重露出防止装置付、クランクによる巻戻し リコー独自のシンプルローテングシステム（フィルム簡易装てん）
カウンタ	順算式自動復元
内蔵フラッシュ	クイックチャージ型フラッシュ、充電完了パイロットランプ内蔵
照射角度	上下方向58°以上、左右方向45°以上
発光間隔	単3マンガン電池で約5秒 単3アルカリマンガン乾電池で約5秒 単3ニッケルカドミウム蓄電池で約3秒（いずれも新品電池使用時）
発光回数	単3マンガン電池で約200回 単3アルカリマンガン乾電池約550回 単3ニッケルカドミウム蓄電池約250回
使用電池	上記の電池いずれも2本使用
フラッシュ撮影距離	ASA50~ASA400、1.2~3.3m
大きさ・重さ	121mm(幅)×72mm(高さ)×44mm(奥行) 380g(電池含まず)
その他	セルフタイマー内蔵・専用フィルター

（本機の外観・仕様は予告なく変更することがあります。）



各部の名称(1)は1ページにあります。

購入カメラ店名			
購入年月日	年	月	日
カメラナンバー	No		



株式会社リコー

〒104 東京都中央区銀座6-14-6
電話 03(543)5111(大代表)

RICOH AUTO HALF EF2